
目次

最新情報.....	2
新機能.....	2
V3.00の追加.....	2
V2.13の追加.....	2
V2.11の追加.....	3
V2.00の追加.....	3
V1.60の追加.....	3
V1.53の追加.....	4
V1.52の追加.....	4
V1.50の追加.....	4
V1.40の追加.....	4
V1.22の追加.....	4
メンテナンス.....	5
V3.00の修正.....	5
V2.13の修正.....	5
V2.12の修正.....	5
V2.11の修正.....	5
V2.00の修正.....	6
V1.60の修正.....	6
V1.53の修正.....	6
V1.52の修正.....	7
V1.50の修正.....	7
V1.40の修正.....	8
V1.22の修正.....	10
ファームウェアバージョンの確認.....	11
ファームウェアアップデート手順.....	11

最新情報

本機のファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。

また、本機に接続するリモコン（RC-HS32PD / RC-900）に関しましても、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。

関連する製品の最新版のファームウェア

RC-HS32PD	: V1.51
RC-900	: V1.40

最新のファームウェアに関しては、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) にてご確認ください。

新機能

V3.00の追加

- タイムラインモードにおいて、音声波形を表示する WAVEFORM VIEW機能（有償オプション）を追加しました。
- 上記の機能追加に伴い、“VERSION/OPTION”画面に“LICENSED FUNCTIONS”タブ画面を追加しました。
- タイムラインモードの各種表示を追加／改善しました。
 - IN-OUT間の時間を表示するようにしました。
 - タイムバー表示において、下記2種類を切り換えて表示できるようにしました。
 - ・ リージョンと一緒に移動する現在時刻表示
 - ・ 現在位置からの相対時間表示
 - 現在時刻を示すカーソル位置を左右に移動できるようにしました。
 - リージョンのフェードIN / OUTエリアに、フェードIN / OUTを示す斜線を表示するようにしました。
 - タイムラインの先頭／末尾／長さ／波形表示可能時間のポップアップ表示を追加しました。
 - 2トラックのタイムラインの場合、2トラックのリージョンを表示エリア全体に拡大して表示するようにしました。
- タイムライン／テイク／プレイリスト（シングル）／オンエアーの各モードにおいて、マークバーにマーク名を表示するようにしました。また、カレント時刻と一致したマーク名を青色で表示することで、マーク位置に頭出しできていることを確認しやすくしました。
- タイムラインモードにおいて、フロントパネルのSHIFT + PLAYキー操作により、IN / OUT間再生（IN点から再生を開始し、OUT点で再生を停止）ができるようにしました。
- ⏪ / ⏩キー単独でマークスキップ操作ができるようにする“MARK SKIP MODE”設定を“SYSTEM SETUP”画面“PREFERENCES”タブ画面を追加しました。
- Jog再生による頭出し動作を改善しました。
- 外付けキーボード / VNCキーボードでの下記操作に対応しました。
 - SHIFT + F1 : Mark Skip ⏪
 - SHIFT + F2 : Mark Skip ⏩
 - SHIFT + F3 : CHASE
 - SHIFT + F4 : RETAKE
 - SHIFT + F5 : IN / OUT間再生
- RS-232Cコマンドによるタイムライン向けの下記操作に対応しました。
 - ・ Time Zoom +/-
 - ・ Level Zoom +/-
 - ・ IN / OUT点の設定 / クリア
 - ・ IN / OUT間再生
 - ・ カーソル移動モード切り換え
 - ・ カーソル移動
- TASCAM RC-900 V1.40で追加されたMACHINE SEL "8 : HS [C](TmLine)" モードに対応しました。
- プレイリストのロード / インポート時、またはPLAYLIST AutoCue設定のOFFからONへの切替時に、Auto Cueポイントをプレイリストエントリーの開始時刻に自動で一括設定する機能を追加しました。
- Auto Cueポイントをプレイリストエントリーの開始時刻に一括、または個別で設定する機能を追加しました。

V2.13の追加

- RS-232C経由でのリビルドに対応しました。

V2.11の追加

- プレイリストエントリー毎のリPEAT再生設定を追加しました。
- プレイリストエントリー 1、2のタイマー再生設定を追加しました。
- フェーダー操作によってオンライン再生モードの切り換えを行う“**Linked to Fader**”機能を追加しました。
- USBメモリーからのデータの取り込みや、USBメモリーへのデータのコピーに対応しました。
- 上記に伴い、“**CF MANAGE**”画面を“**MEDIA MANAGE**”画面に名称を変更し、USB FORMAT機能とUSBメモリー／カレントメディア間のコピー機能を追加しました。

- CFカード、USBメモリーのフォルダー／ファイルの表示／操作を行う“**BROWSE**”画面を追加しました。
- RS-232Cによるリモートコントロールに対応しました。
- 文字入力画面表示中に外付けキーボードのSHIFTキーを押しながらBack Spaceキーを押すことで、入力文字を全てクリアする機能を追加しました。

メモ

詳しくは、HS-4000の追補「ファームウェアV2.11の新機能追加」を参照ください。

V2.00の追加

- タイムライン編集に、下記機能を追加しました。
 - Copy
 - Insert
 - Paste
 - Insert File
 - Paste File
 - Insert Mute
 - Fade IN/OUT設定
 - Fade IN/OUT削除
 - リージョンの再生レベル設定

注意

上記の機能追加に伴い、セッション情報ファイルを拡張しました。そのため、HS-4000 V2.00で作成／編集したプロジェクト／セッションをV1.22以前のHS-4000でロードしないでください。動作不良を起こす場合があります。

- “**TIMELINE Rec Tracks**”設定：“**2trx2**”での録音／編集機能を追加しました。ただし、この設定では“**PreREC**”設定が“**OFF**”に固定されて使用できません。
- タイムラインモードに“**IMPORT ALL TAKES**”機能を追加しました。
- テイク名の編集機能（“**EDIT NAME**”）を追加しました。
- テイクの削除機能（“**DELETE**”）を追加しました。
- テイク再生順の変更機能（“**MOVE**”）を追加しました。

- オンエアモードにおいて、“**REMOTE SETUP**”画面の“**PARALLEL**”タブ画面に“**OnAir OFF BWF-J Tally**”設定を追加し、“**ON AIR**”ボタンがオフ時にタリー出力を制限できるようにしました。
- “**LOCK SETUP**”画面の機能を、下記のように拡張しました。
 - “**OnAir-ON SAFE**”設定を追加し、“**ON AIR**”ボタンがオン時にトランスポート操作制限できるようにしました。
 - “**REMOTE/KEYBOARD**”の“**LOCK/UNLOCK**”項目の設定を、下記のように分離／拡張しました。

OnAirモード用の REMOTE LOCK/UNLOCK設定	“ REMOTE OnAir ”
OnAirモード以外用の REMOTE LOCK/UNLOCK設定	“ REMOTE OTHERS ”
KEYBOARD FUNCTION KEY用の LOCK/UNLOCK設定	“ KEYBOARD F-KEY ”
KEYBOARD FUNCTION KEY以外用の LOCK/UNLOCK設定	“ KEYBOARD CHARACTER ”

- タイムラインモードにおいて、停止中／再生待機中／ジョグ動作モードでの再生待機中、下記操作で停止／再生待機位置を移動する機能を追加しました。
 - ◀◀ / ▶▶ キーを押してすぐに離れた場合：1サンプル移動
 - SHIFT+◀◀ / ▶▶ キーを押してすぐに離れた場合：1ms移動

メモ

詳しくは、HS-4000の取扱説明書（D01134001D）を参照ください。

V1.60の追加

- 音声ファイルをパスワードロックし、パスワードの一致した本機以外で再生できないようにするWAV LOCK機能（有償オプション）を追加しました。
- “**VERSION INFO**”画面を“**VERSION/OPTION**”画面に名称を変更しました。
- モノラルミックス機能を“**MIXER SETUP**”画面の“**SETUP**”タブ画面に追加しました。
- “**MIXER SETUP**”画面の“**SETUP**”タブ画面に出力信号のブロック図表記を追加しました。

メモ

詳しくは、HS-4000の追補「ファームウェアV1.60の新機能追加」を参照ください。

V1.53の追加

- カレントセッションのテイクの再生順を、テイク名の文字コード順に自動的に並べ替えるAuto Take Sort機能を追加しました。
- “SYSTEM SETUP”画面に“REFERENCE LEVEL”タブ画面を追加しました。

メモ

詳しくは、HS-4000の追補「ファームウェアV1.53の新機能」を参照ください。

V1.52の追加

- テイクリスト画面内のプルアップメニューに“SORT”ボタンを追加し、テイクの再生順をテイク名の文字コード順に並べ替えることができるようにしました。
- ホーム画面の時間表示モードに経過時間と残時間の両方を表示する“ELAPSED/REMAIN”と“REMAIN/ELAPSED”を追加しました。これに伴い、時間表示モードをプルダウンメニューで切り換える方式に変更しました。

メモ

詳しくは、HS-4000の追補「ファームウェアV1.52の新機能」を参照ください。

V1.50の追加

- オペレーションモードにプレイリストモード (A / B MIXED) を追加しました。

メモ

詳しくは、HS-4000の追補「ファームウェアV1.50の新機能」を参照ください。

V1.40の追加

- P2 ControlのVari Pitchコマンドに対応し、Video Editorからの同期コントロールが可能となりました。
- 2つのステレオファイルが貼り付けられたADLファイルのインポート／再生に対応しました。

メモ

- このADLファイルをインポートした場合は、録音／編集／バウンスは実行できません。実行しようとするポップアップメッセージが表示されます。
- このADLファイルをインポートすると、ホーム画面のリージョン表示部分がch2とch3の区切り線だけ太く表示されます。

- 下記TELNETコマンドに対応しました。

- MECHA STATUS SENSE
- CURRENT TRACK (TAKE) TIME SENSE
- IMPORT ADL

V1.22の追加

- BWF形式でないWAVファイルの再生に対応しました。
- 外部ファイルの自動認識機能を追加しました。
- テイクモード／プレイリストモードにタイムコード時刻ベースのマニュアルロケート機能を追加しました。
- 新規プロジェクト／セッション作成時にテイク名を初期化しました。
- テイクモードでの録音時に動作中表示を追加しました。
- Digital入力のUnlockを検出しても入力信号をMuteしないようにしました。
- コンフィデンスモニターの状態をホーム画面上で確認できるように、ホーム画面のトランスポートアイコンと時間表示の間にコンフィデンスモニターボタン(アイコン画像)を追加しました。
- プレイリストモードのエントリー編集画面の操作方法変更、音声モニターのリハーサル再生機能を追加しました。
- エントリーリスト画面でのアサイン変更機能を追加しました。
- BC\$STANDBY / END範囲一括切り換え機能を追加しました。

- オンエアーモード (ルートにあるファイルを再生するモード) を追加しました。
- BC\$END動作モード設定を追加しました。
- SONY P2 RECコマンドに対応しました。
- システム設定のバックアップ機能およびプリセットメモリー機能を追加しました。
- オートマーカー / “PRE/REC/END” のON / OFF 切り換え機能を追加しました。
- バウンスの保存先が選択可能になりました。
- テイクのコピー機能を追加しました。
- “REMOTE SETUP”画面に“ETHERNET”タブ画面を追加しました。
- ネットワーク機能 (FTP/telnet/VNC) を追加しました。

メモ

詳しくは、HS-4000の追補「ファームウェアV1.22の新機能」を参照ください。

メンテナンス

V3.00の修正

- 動作の安定性を向上させました。

V2.13の修正

- FTPでカレントセッション以外にテイクを追加した後にこのセッションをロードした際、リビルドしないと追加されたテイクが表示／再生できない不具合を修正しました。
- プレイリストモードの“**ADJUST ENTRY**”画面において、“**PREVIEW**”ボタンを“**ON**”にしてリハーサル再生させた際、プレイリストエントリー毎のリPEAT動作がリハーサル再生に反映されない不具合を修正しました。
- RC-HS32PDで素早くキー操作をした時、フラッシュ再生を開始するまでに時間がかかることがある不具合を修正しました。
- 動作の安定性を向上させました。

V2.12の修正

- タイムラインモードにおいて、録音した直後のCFで、BE-200でAES31 FILEであるdefaultAES.adlを読み込んだ際、BE-200上にリージョンが表示されないことがある不具合を修正しました。
- タイムラインモードにおいて、TIMELINE Rec Tracksの設定が4trで録音を行った際、まれにPOLYファイル以外のオーディオファイルが作成される不具合を修正しました。
- プレイリストモードにおいて、設定されているタイマー再生時間通りに、正しく再生されない場合がある不具合を修正しました。
- テイクモードにおいて、空のセッションにBROWSE機能でテイクをコピーした後、ホーム画面にテイク名が表示されない不具合を修正しました。

V2.11の修正

- 読み取り専用設定されたテイクも、WAV LOCK機能（有償オプション）によるパスワードロックを設定／解除できるように修正しました。
- “**MIXER SETUP**”画面の“**MONITOR MIXER**”タブ画面のモニターレベル設定を、プロジェクト設定から本体設定に変更し、プロジェクトのロードでモニターレベル設定が変更されないように修正しました。
- プレイリストモード（デュアル）において、カレントスロットのCFカードを抜いた後にホーム画面右側のPAGEを切り換えると、再生できない状態にもかかわらず、RC-HS32PDのフラッシュキーが点灯することがある不具合を修正しました。
- BE-200やTASCAM HS EditorでアーカイブしたCFカードを選択していないスロットに装着した後、このCFカードをカレントメディアに切り換えると、メディアを認識しない不具合を修正しました。
- Macで読み書きしたことがあるCFカードを本機に装着した際、Macが自動的にCFカード上に作成した管理フォルダを、本機で表示しないように修正しました。
- タイムラインモードのTIMELINE Rec Tracks設定が2trx2 POLYの際、IMPORT ALL TAKESを実行後にEXPORT AES31で出力したAES31ファイルを読み込むと、3/4chのタイムライン情報が消えてしまう不具合を修正しました。
- “**LOCK SETUP**”画面の“**EXT.CTRL**”項目が“**LOCK**”に設定されていると、“**REMOTE**”項目が“**LOCK**”に設定されていても“**LOCK**”できない不具合を修正しました。
- “**NEXT TAKE NAME**”画面で“**User Word**”に設定していてもiXMLの<SCENE>タグにフォルダ名を記録していましたが、“**NEXT TAKE NAME**”画面で設定されている名前を記録するように修正しました。また、iXMLの<TAPE>タグを追加し、ここにセッション名を記録するようにしました。
- テイク名を変更した際、テイクのiXML情報も変更するようにしました。
- パラレル端子からPLAY信号とRECORD信号を同時に入力して録音を開始したとき、まれにタイムコードが出力されないことがある不具合を修正しました。
- 動作の安定性を向上させました。

V2.00の修正

- “ON AIR” ボタンをON → OFF時の停止位置とトランスポートモードを変更しました。
- オンエアモードにおいて、“ON AIR” ボタンのオン/オフ切り換えで、ホーム画面の時間表示モードを変更しないように修正しました。
- オンエアモード専用の“FADER MODE / FADER Start MODE / FADER Stop MODE”設定を追加しました。
- プレイリストのロード時/タイムラインモードでのセッションロード時に、問題のあるエントリー/リージョンがあった場合に、メッセージを表示するようにしました。
- V1.52 / 1.53からV1.60へのアップデートにより、オンエアモードにおける“REMOTE SETUP”画面の“PARALLEL”タブ画面の“BWF-J Tally”設定が変わってしまう不具合を修正しました。
- V1.60の文字入力画面において、“@” ボタンを押すと“2”が入力されてしまう不具合を修正しました。
- オペレーションモードをオンエアモードに切り換えた際、モニター出力およびヘッドホン出力されなくなる可能性がある不具合を修正しました。
- プレイリストモード (A/B MIXED) において、エントリーリスト画面で複数のエントリーを選択し、プルアップメニューの“CLEAR” ボタンを押した際に、プレーヤー Bのエントリーが正しく登録解除されない不具合を修正しました。
- 動作の安定性を向上させました。

V1.60の修正

- Session/Take CopyしたProjectをロードした際、Project設定が正しく再現しないことがある不具合を修正しました。
- プレイリストモードにおいて、PPLファイルのインポートを行った際、ポップアップメッセージが消えなくなる可能性がある不具合を修正しました。
- A/B MIXEDモードにおいてプレイリストを新規作成する際、プレーヤー A/Bどちらにロードするかを確認ポップアップメッセージが表示されず、新規プレイリストが必ずプレーヤー Aにロードされる不具合を修正しました。
- 動作の安定性を向上させました。

V1.53の修正

- プレイリストモードにおいて、動作中エントリーより前に登録しているエントリーを削除または再登録すると、ファイルが再生されないことがある不具合を修正しました。
- 時刻表示モードがT/Cの際、プレイリストモードで“Start Point”を変更したエントリーにおいて、“Start Point”を変更していない場合と同じ時刻がタイムカウンターに表示される不具合を修正しました。
- 256番目以降のテイクにおいて、マークスキップやマークポイント設定/表示/変更ができない不具合を修正しました。
- プレイリストモードにおいて、“ADJUST ENTRY”画面表示中はCALL [CHASE] キーを受け付けないようにしました。
- プレイリストモードにおいて、“CAPTURE BCS”実行中にトランスポート操作を受け付けてしまい、以降の再生が正常にできなくなる不具合を修正しました。
- 動作の安定性を向上させました。

V1.52の修正

- オンエアモード用の“REMOTE SETUP”画面“PARALLEL”タブ画面の“BWF-J Tally”設定を、他のオペレーションモードとは別の本体バックアップ設定値を用いるように変更しました。
- “PLAY SETUP”画面“GENERAL”タブ画面の“Follow BWF-J”をONに設定されている際のテイク／エントリースキップ実行時、スキップ先のテイク／エントリー先頭にBC\$STANDBYマークが設定されていた場合、PAUSE状態に切り換えてBC\$STANDBYタリーを出力するように修正しました。
- BC\$STANDBY / BC\$PAUSEのタリー出力がONの状態にてイク／エントリースキップをした際、タリー出力がOFFになるように修正しました。
- オンエアモードにおいて“ON AIR”ボタンがON状態でBC\$STANDBY位置で再生待機状態 (PLAY PAUSE)の際、“ON AIR”ボタンをOFFにしてBC\$STANDBYでない位置に再生待機状態 (PLAY PAUSE)となった場合に、BC\$STANDBYタリー出力がOFFになるように修正しました。
- オンエアモードにおいて“ON AIR”ボタンがOFF状態の際、先頭テイク以外で再生待機状態 (PLAY PAUSE)のときに“ON AIR”ボタンをONにした場合に、正しい位置で再生待機状態 (PLAY PAUSE)にならない場合がある不具合を修正しました。
- “REMOTE SETUP”画面“PARALLEL”タブ画面の“AUX Assign”を“Fader Start B”に設定してプレーヤー BをFader Startさせた状態にすると、パラレルコントローラーの他のキー操作を受け付けられない不具合を修正しました。
- パラレルコントローラーのPLAYキーが押されたままパラレルコントローラーのRECキーが2回押されると、録音を開始していた不具合を修正しました。
- プレイリストモードにおいて、停止中以外にプレイリストのエントリーアサインを行うと操作ができなくなる可能性がある不具合を修正しました。
- 本機の電源が入った状態でUSBキーボードを抜き差しすると操作ができなくなる可能性がある不具合を修正しました。
- 読み取り専用で設定されたWAVファイル／BWFファイルが再生できない不具合を修正しました。
- 読み取り専用で設定されたWAVファイル／BWFファイルに対してマークポイントの登録／編集操作をした際、読み取り専用ファイルには登録／編集できない旨のメッセージを表示するようにしました。
- “SYNC/TC”画面“SETUP”タブ画面の“FrameType”設定が“23.976F”の状態、フレームタイプが29.97NDFのタイムコードが入力された際、入力タイムコードのフレームタイプに“30NDF”と表示していたのを“29.97NDF”と表示するように修正しました。
- 動作の安定性を向上させました。

V1.50の修正

- オンエアモードで時間表示モードがT/Cのとき、タイムコードベースのロケートをしていなかった不具合を修正しました。
- “NEXT TAKE NAME”画面の番号が998のテイクを録音した後、次に録音しようとしても“Cannot RECORD. Take Limit Reached. Please change to another Session.”とポップアップメッセージが表示されて録音できない不具合を修正しました。
- プレイリストモード [デュアル] 時、プレーヤー B再生中にプレーヤー Aの“ADJUST”画面に切り換えると、ホーム画面に戻ったときに停止中のプレーヤー Aのタイムカウンターが動いてしまう不具合を修正しました。
- LogicPro9で作られたWAVファイルのマーク名が表示できないことがある不具合を修正しました。
- プレイリストモードでRebuild実行後、ポップアップメッセージが消えてもフラッシュキー操作を少しの間受け付けられない不具合を修正しました。
- プレイリストモードにおいて、“ADJUST”画面の“◀◀ / ▶▶”ボタンで編集対象エントリーを切り換えた際にマーク情報が表示されない不具合を修正しました。
- WAVファイルのiXML情報のうち、CurrentProject/Session情報が間違っていた不具合を修正しました。
- プレイリストモードにおいて、“ADJUST”画面の“PREVIEW”ボタンが“OFF”に設定されている際、“Fade Out Length”変更後の停止位置が間違っていた不具合を修正しました。
- “Playlist”選択画面で“MULTI SELECT”ボタンをオンにしてから“IMPORT PPL”画面に切り換えると、“IMPORT” [➡] ボタンが無効状態になってインポートできない状態になる不具合を修正しました。
- “Confidence Monitor”設定が“OFF”で録音中に、レコードファンクション設定がオフのトラックのインプットモニター設定をオンにしても、音声入力端子からの音声が聞こえない不具合を修正しました。
- タイムラインモードにおいて、同期エラーのマーク (UNLKxx) がWAVファイルに設定されない不具合を修正しました。
- 動作の安定性を向上させました。

V1.40の修正

- メディアが装着されていない状態でも、RC-HS32PDのフェーダーボリューム設定を有効とするようにしました。
- 誤操作防止のため、RC-HS32PDのFADER STARTキーの反応速度を、200msに遅くしました。
- プロジェクト作成時、“T/C Frame Type”設定の初期値は現在の設定値を引き継がず、常に“29.97DF”とするように変更しました。
- 下記設定をファイル保存から、機器本体保存に変更しました。
 - Rec Function
 - Input Monitor
 - Monitor PAN
 - Keyboard Type
 - Monitoring Position (“MIXER SETUP”画面の“MONITOR MIXER”タブ画面の“PreFader/PostFader”設定)
- TIMELINE Rec Tracks設定を2tr/3trにしたセッションのタイムラインモードのホーム画面において、未使用トラックのリージョン表示部分とメーター番号部を暗く表示することで、設定トラック数がわかるようにしました。
- プロジェクトの存在しないメディアをカレントメディアに装着して起動した際、バックアップ値（Presetも含む）が表示に反映されない不具合を修正しました。
- パソコンで作成したProject/Sessionフォルダーに44k/48kHzのWAVファイルを混在させて読み込ませた際、本体のFs設定は44kHz、ProjectのFs設定は48kHzとなり、再生すると再生エラーが発生する不具合を修正しました。
- プレイリストモードでCF COPYを実行後、登録エントリーの有無にかかわらず、停止エントリー番号が100となり、RC-HS32PDエントリーボタン表示が消灯状態となる不具合を修正しました。
- テイクモードで録音したテイクを再生する際、録音時のレコードファンクション設定によって再生エラーが発生する不具合を修正しました。
- テイクモードで録音中、Total Remain表示が24h未満に丸められて表示される不具合を修正しました。
- カレントでないスロットにパソコンでフォーマットしたCFカードを装着した際、表示されたフォーマット実行を要求するポップアップメッセージの“OK”ボタンを押すと、間違っカレントスロットのCFカードがフォーマットされてしまう不具合を修正しました。
- “REMOTE SETUP”画面の“GENERAL”タブ画面の“FADER MODE”項目を“Disable”から“Enable”に切り換えた際、V1.40より前のバージョンでは外部リモコンのフェーダーが動かされるまで音量を変更していませんでしたが、V1.40からは切り換え時に外部リモコンのフェーダー物理位置に合わせた音量となるように修正しました。
- タイムラインモードにおいて、Start TimeによってAES31編集情報ファイルのインポートが正常にできないことがある不具合を修正しました。
- イベント情報がひとつも無いAES31編集情報ファイルをインポートすると、タイムコードフレームタイプが強制的に29.97DFになってしまう不具合を修正しました。
- 外付けキーボードがCapsLock Onの状態だと、Functionキー操作ができない不具合を修正しました。
- FTPによってファイルを上書きされた際、再生エラーとなってしまう不具合を修正しました。
- “AnalogRefAdjust”画面で“-18.0dB”、“-9.0dB”と表示された際に、-18dB/-9dBのRef.Level Lineまでメーターが表示されるようにしました。
- データ読み込みエラーが発生した際、読み取った音声データを全て出力してからエラーメッセージを表示して停止するように修正しました。
- P2から返す時間データにタイムコードのドロップフレームフラグが反映されない不具合を修正しました。
- Pause ModeがNO SPLIT設定の際、Rec Pause状態してから録音を再開すると、録音可能時間分録音できない不具合を修正しました。
- Pause ModeがSPLIT設定の際、タイムラインモードでRec Pause状態からStopした際にタイムラインデータが保存されない不具合を修正しました。
- “Playlist Adjust”画面でマークを設定した際、設定されたマークのアイコンが表示されない不具合を修正しました。
- ファイルコピー実行後、コピー先のメディア残量が更新されるように修正しました。
- RC-HS32PDを接続した状態で起動した際、本体タッチパネルが動作しなくなることがある不具合を修正しました。
- HS-P82 / HS-8で作成されたプロジェクトをロードした際、Recファンクションが設定できなくなることがある不具合を修正しました。
- メディアを装着せずにオンエアモードで起動した際、表示されるFs値がオンエアモード用のFs値ではなく、最後にロードしたプロジェクトのFs値となっており、メディアを読み込むとFs表示が変更されてしまう不具合を修正しました。
- テイクコピーの際、コピー先に空き容量があるのにコピーできなかったり、同名ファイルが無いのに同名ファイルがあると誤判定してコピーできない不具合を修正しました。
- セッションコピーの際、コピー先に同名セッションがあっても何も報告せずに上書きコピーしていたのを、上書き確認を行うように修正しました。
- オンエアモードにおいてFTPで複数のテイクを追加した後、ON AIRボタン切り換え処理が正常に行われず、再生しても時間表示が更新されないことがある不具合を修正しました。
- プレイリストに登録されている再生範囲が実ファイルより大きい場合は、再生範囲を実ファイルに合わせるように修正しました。
- 本機以外で作られたファイルへのマーク設定が正常に行われない場合がある不具合を修正しました。
- AES31ファイルをインポートした後、画面表示と出力されるタイムコードでフレームタイプが異なる不具合を修正しました。
- オンエアモードで各種設定を切り換えると時間表示モードが変更されてしまう不具合を修正しました。
- “SYNC T/C”画面の“SETUP”タブ画面の“Frame Type”項目を変更しても、プロジェクト画面でプロジェクトの情報ポップアップメッセージに表示される“Frame Type”が変更された値にならないことがある不具合を修正しました。
- タイムラインモードで“Pause Mode”が“SPLIT”設定の際、RecPause後に録音を再開する位置を、録音停止後に録音再開した場合と同じ位置に修正しました。

- JAM SYNCが同期しないことがある不具合を修正しました。
- タイムラインモードにおいて、BC\$FILE→BC\$PAUSEという順番でマークを設定すると、BC\$PAUSEでPauseとStandbyのタリーが出てしまう不具合を修正しました。
- タイムラインモードでChase再生中にChaseをOFFした際、タイムライン先頭から再生を再開していたのをChaseOFFした位置から再生するよう修正しました。
- プレイリストモードにおいて、ロードするとStandbyになるSession (Follow BWF-JがONで1st takeにBC\$STANDBYマークがある) を ⇒ ボタンでLoadすると **“Playlist”** 選択画面にファイルが表示されない不具合を修正しました。
- RC-HS32PDのフラッシュキーにおいて、ファイル名によってはファイル名表示が途切れてしまうことがある不具合を修正しました。
- タイムラインモードにおいて、ABS時刻の24時少し前から再生をはじめた後にパンチイン録音するとエラーで停止してしまい、録音データがなくなってしまう不具合を修正しました。
- テイクモードにおいて、RecPause後にRec再開するとオートマークが設定されない不具合を修正しました。
- 時間表示モードがT/Cのとき、タイムラインモード以外で24hを跨いだロケートをするように修正しました。
- 2GB以上のファイルは2GB以上の部分が再生できないため、テイクとして認識しないように修正しました。
- いくつかのUSBキーボードにおいて、**“j”** の文字が入力できない不具合を修正しました。
- オンエアモードにおいて、FsがOnAir Fsと一致するWAVファイルがリストに表示されなくなることがある不具合を修正しました。
- プレイリストモードにおいて、最終エントリーの終了間際で別のエントリーをフラッシュ再生すると、フラッシュ再生したエントリーがすぐに終了して、次のエントリーが再生されてしまう不具合を修正しました。
- プレイリスト (デュアル) モードにおいて、PARALLELポートのPLAY B/STOP Bが動作しない不具合を修正しました。
- タイムラインモードにおいて、マークを最大数の99個設定後、これらのマークを削除した後に設定されるマーク名の番号が全て99になってしまう不具合を修正しました。
- **“REMOTE/KEYBOARD”** セクションが **“LOCK”** された状態でも、RC-HS32PDの**FADER START**キーが動作してしまう不具合を修正しました。
- オンエアモードにおいて、メディア未装着状態でメディア切り換えをすると、選択されていないメディアの状態が **“No Media”** (未装着) ではなく **“No Project”** (装着されているがプロジェクト無し) となってしまう不具合を修正しました。
- **“Playlist Adjust”** 画面の **“CURRENT”** ボタンで現在時刻が取り込めないことがある不具合を修正しました。
- AES31ファイルのインポートでエラーが発生した際にエラー報告されないことがある不具合を修正しました。
- プレイリストモードにおいて、PAUSE状態でマークを設定してから **“Adjust”** 画面に切り換えると、このマーク情報が消えてしまう不具合を修正しました。
- HS-P82、HS-8で作成したモノフォルダーを含むプロジェクトを読み込むと、オンエアモードで一部のファイルが表示されないことがある不具合を修正しました。
- 動作の安定性を向上させました。

V1.22の修正

- タイムラインモードでの再生中にファイルの読み込みに失敗した場合、停止せずに無音で再生継続する様に変更しました。
- PreRec有りの設定で0時から録音を開始すると、“**RECORD stopped. ABS time is over 24h**” のポップアップメッセージが表示され、録音が停止してしまう不具合を修正しました。
- “**SYNC T/C**” 画面・“**SETUP**” タブ画面の “**TC GEN MODE**” 項目が “**REGEN**” または “**JAM SYNC**” での録音時にファイルに記録されるスタートタイムの精度を向上しました。
- “**SYNC T/C**” 画面・“**SETUP**” タブ画面の “**TC GEN MODE**” 項目が “**TIME OF DAY**” の設定で本機の内蔵時計を調整した際、タイムコードジェネレーターが調整後の時刻に追従していなかった不具合を修正しました。
- PPLファイルをインポートした際に指定ファイルが存在しないエントリーがあった場合、存在しないファイル以外はエントリー登録するように修正しました。
- 本機以外で作成されたWAVファイルにマークポイントを追加できなくなることがある不具合を修正しました。
- “**CF Manage**” 画面の各処理実施前の再確認ポップアップメッセージが表示されている際、**ENTER**キーを押すとCancel処理、**EXIT/CANCEL**キーを押すとOK処理と、キー名称と逆の処理が実施されてしまう不具合を修正しました。
- ポップアップメッセージが消えなくなることがある不具合を修正しました。
- プレイリストモード [デュアル] においてプレイリストが保存されていない状態でオペレーションモードなどを変更する際、A/B別々にプレイリストの保存を確認していましたが、A/B両方のプレイリストを同時に保存するか確認するように変更しました。
- “**PROJECT**” 画面の “**⇒**” ボタンでFsやTC Frame Typeの違うプロジェクトをロードすると、セッションの “**TotalTime**” や “**TakeLength**” の表示に間違った値を表示してしまう不具合を修正しました。
- CFカードのルートディレクトリにファイルがたくさんあると、ファームウェアアップデート用のファイルが表示されない不具合を修正しました。
- テイクモードでのリテイクが1テイクしかできなかった不具合を修正しました。
- オンライン再生中にロケートコマンドを受け付けないように修正しました。
- ファイルの先頭／末尾にあるBC\$マークがBWF-J動作しないときがある不具合を修正しました。
- “**PLAY SETUP**” 画面・“**CONTROL**” タブ画面の “**Auto Cue**” 設定がONの場合、テイク先頭位置で停止した状態で**PAUSE**キーを押された際にAuto Cueサーチを行うように修正しました。
- プロジェクト名を変更した後、RC-HS32PDのキーにテイク名が表示されなくなる不具合を修正しました。
- CFカードをフォーマットした後にオペレーションモードを切り換えた際、ホーム画面のCFカード残量の表示に “**NoProject**” と表示されなかった不具合を修正しました。
- プレイリストモード [デュアル] においてプロジェクトやセッションが無いCFカードを読み込むと、CFカードスロット横のインジケーターが点滅したままになり、プロジェクトやセッションが新規に作成できなくなる不具合を修正しました。
- セッションの無いプロジェクトをロードした際、カラーディスプレイやRC-HS32PDのキーにロード前のプロジェクト／セッションの情報が表示されていた不具合を修正しました。
- AES31ファイルをインポートする際、指定リージョンサイズが音声ファイルより長い場合は、無音として登録するように修正しました。
- 下記設定値の保存先を、CFカードのプロジェクト設定ファイルから機器本体の内蔵メモリに変更しました。
 - OUTPUT 1-4 SOURCE
 - PLAY INHIBIT TIME
 - MASTER T/C
 - FADER MODE
 - FADER START MODE
 - FADER STOP MODE
- WAVのbextチャンクサイズが標準サイズより2バイト多くなっていた不具合を修正しました。
- “**SYNC T/C**” 画面・“**SETUP**” タブ画面の “**TC GEN MODE**” 項目が “**REC RUN**” モードで録音中にカレントに選択されていないICFカードを抜くと、TCジェネレーターが停止してしまう不具合を修正しました。
- テイクモードにおいて、停止状態でマークポイントを登録後にオペレーションモードを切り換えると、マークポイントが音声ファイルに登録されない不具合を修正しました。
- タイムラインモードでマークポイントを登録した際、音声ファイルにもマークポイントを登録していた不具合を修正しました。
- プレイリストモード [デュアル] において、プレイヤー Bにエントリーを登録後にテイクモードに切り換えるとマークリストが表示されなくなっていた不具合を修正しました。
- 本機以外で編集したBWFファイル／WAVファイルに対して、本機でマーク情報を編集すると “**MARK LIST**” 画面にマークが表示されなくなる不具合を修正しました。
- プレイリストモード [デュアル] において、プレイヤー A / B両方の同一エントリーに同一テイクをアサインすると、“**MARK LIST**” 画面にマークが表示されなくなる不具合を修正しました。
- 動作の安定性を向上させました。

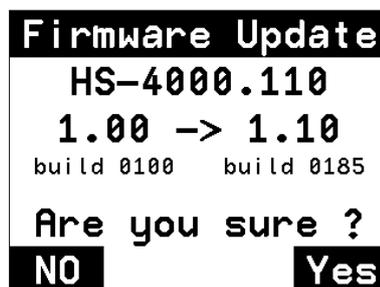
ファームウェアバージョンの確認

ファームウェアアップデート作業前に、お手持ちのHS-4000のファームウェアバージョンを確認します。

1. 本体の電源を入れてください。
2. フロントパネルのMENUキーを押して、“MENU”画面を表示します。
3. “VERSION INFO”ボタンを押します。
ここで表示される“SYSTEM VERSION”（ファームウェアバージョン）を確認してください。ここで表示されるバージョンが、これからアップデートしようとしているバージョンと同じ、または新しい場合はアップデートの必要はありません。

ファームウェアアップデート手順

1. TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) より最新のファームウェアをダウンロードします。
2. ダウンロードしたファームウェアをパソコンでCFカードのルートフォルダーにコピーします。
3. コピーが終わったら、パソコンからCFカードを正しい手順で取り出します。
4. CFカードを本体フロントパネルのCFカードSLOT 1に挿入します。
6. アップデートしたいファームウェア名を押してください。以下の画面が表示されます。

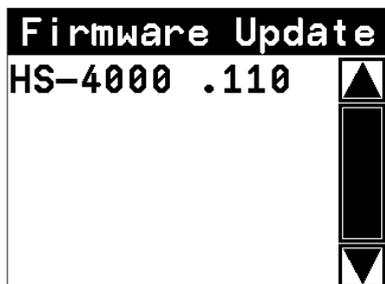


左側に現在のバージョン、右側にアップデートするバージョンナンバーが表示されます。

注意

CFカードは、必ずCFカードSLOT 1 だけに入れてください。CFカードSLOT 2では、アップデートはできません。

5. PAUSEキーとRECキーを同時に押しながら、本体の電源を入れます。
本体がアップデートモードで起動し、画面にアップデート用ファイルが表示されます。



注意

上記の画面が表示されないときは、一旦電源を切り、PAUSEキーとRECキーを同時に押しながら再度電源を入れてください。

PAUSEキーとRECキーは、上記の画面が表示されるまでしっかり押し続けてください。

メモ

- 上記の画面には、本機のCFカードSLOT 1に挿入されたCFカードのルートフォルダー内にあるファームウェアアップデート用のファイルがリスト表示されます。上記の2.でコピーされたファームウェアも表示されます。
アップデート用のファイルが無い場合は、“No Update File”と表示されます。
- 表示行はファームウェア最大5行です。表示最大行を超えるファイルがある場合には、画面右側のスクロールバーの“▲”／“▼”のボタンかDATAダイヤルでリストをスクロールさせてください。

メモ

画面は一例で、実際の表示とは異なります。

7. “YES”ボタンを押すと、アップデートを開始します。

注意

アップデート中、電源を切らないでください。

8. アップデートが終了すると画面下に“Complete”、“PLEASE POWER OFF”と表示されます。
電源を切り、再度電源を入れてください。
9. 「ファームウェアバージョンの確認」を参照して“SYSTEM VERSION”（ファームウェアバージョン）が最新のファームウェアとなっていることを確認してください。
以上で本機のアップデート作業は終了です。